

イモムシクイズ

真ん中のページで紹介したチョウの幼虫だよ。どのチョウかわかるかな？



①頭につのが2本、背中の4対のとんがりは3番目が大きいよ。



②黄色いハチマキを1本つけているよ



③つんつんしたとんがりがたくさん出ているよ。



④おどろくと黄色いつのがによきーっと出てくるよ。



⑤おどろくと赤いつのがによきーっと出てくるよ。

チョウのつかまえ方

飛んでいるチョウ

地面にいるチョウ



上からあみをかぶせる。



あみを上にひっぱる。



下を片手でしぼり、虫かごを下からさし入れてチョウを入れる。



後ろから追いかけるように横にあみをふって入れるよ。

あみをくると回し、チョウを閉じ込めて、あみをしぼってから虫かごに入れるよ。

注意!! チョウのはねにはとれやすい「りんぷん」がついているので、はねを指でつかまないようにしましょう。

イモムシクイズの答え

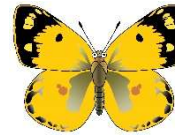
- ①アカボシゴマダラ ②アオスジアゲハ
③ジャコウアゲハ ④アゲハ
⑤クロアゲハ

※アカボシゴマダラは「特定外来生物」に指定され、移動させることが法律で禁止されています。

くずはの広場で虫を捕まえて調べるのはよいけれど、持って帰ることは禁止だよ。広場の生き物を大切にしようね。



くずはの広場・かんさつガイド⑥



春のチョウ



広場では、春になってお花がたくさん咲き始めると、いろいろなチョウが飛び始めるよ。その中でも一年に一回しか会えないお友達、ツマキチョウを紹介しまーす。



もりりん

ツマキチョウはシロチョウの仲間で、オスの前ばねの先端に黄色い斑紋（メスは灰色）があるので、襟（つま＝着物の裾の端の部分）が黄色いツマキチョウとよべれます。はねの裏はオス、メス共に淡い緑色の迷彩模様になっています。



オス



メス

（はねを広げた長さ：4.5 cm）

年1回、春（3月から5月）に成虫が現れます。春から夏にかけて幼虫が成長し、夏に蛹になって翌年の春まで蛹で過ごします。くずはの広場では葛葉川の川原でよく見られ、川原に咲くオオアラセイトウや、セイヨウアブラナ、ハマダイコンなどで成虫が蜜を吸い、幼虫はつぼみや芽を食べています。



オオアラセイトウ



セイヨウアブラナ



ハマダイコン

編集・発行：秦野市くずはの家 〒257-0031 秦野市曾屋 1137 TEL:0463-84-7874

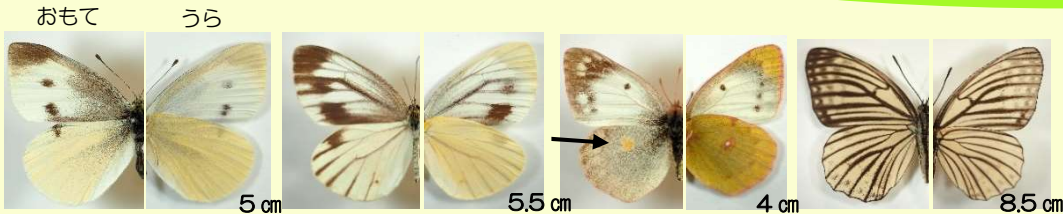
発行日：2022年3月20日 標本提供：堀口弘之氏（くずはの家所蔵）

※このリーフレットは公益財団法人 かながわトラストみどり財団の助成金を活用して作成されました。

しろ

さがしてみよう！ なに色のチョウがいるかな？

くろ



モンシロチョウ 【シロチョウ科】
成:3~11月 冬:蛹
食草:アブラナ科植物
なじみのあるチョウですが、畑で多く見られ、広場では多くありません。はねのすじは白いです。

スジグロシロチョウ 【シロチョウ科】
成:4~10月 冬:蛹
食草:アブラナ科植物
モンシロチョウに似ていますが、はねのすじが黒いです。川原の菜の花畑でたくさん飛びます。

モンキチョウ(メス) 【シロチョウ科】
成:4~10月 冬:幼虫
食草:マメ科植物
メスには白いタイプがありますが、モンシロチョウに似ていますが、後ろばねに黄色い紋があります。

アカボシゴマダラ(春型) 【タテハチョウ科】
成:5月~年3回
冬:幼虫 食草:エノキ
人が放して増えた外来種で、後ろばねに赤い部分がなく、大きなスジグロシロチョウのようです。



ルリタテハ 【タテハチョウ科】
成:ほぼ一年中 冬:成虫
食草:ホトトギスなど
冬でも暖かい日に飛んでいることがあります。はねの縁に沿う青色の帯が飛ぶとよく目立ちます。

クロアゲハ 【アゲハチョウ科】
成:5月~年3回 冬:蛹
食草:ミカン科の樹木
黒いアゲハチョウの中で一番よく見られます。花壇のユズやカラスザンショウに産卵します。

ジャコウアゲハ 【アゲハチョウ科】
成:4月~年3回 冬:蛹
食草:ウマノスズクサ科
林の縁に沿って飛んでいるのを見かけます。雌雄ともお腹の側面に赤い模様があるのが特徴です。

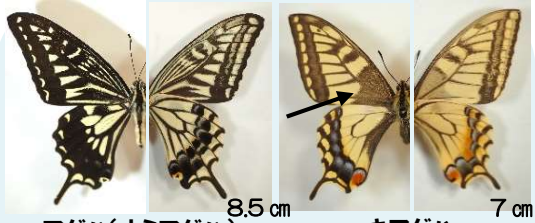
アオスジアゲハ 【アゲハチョウ科】
成:4~8月 冬:蛹
食草:クスノキ科の樹木
くすのき広場のクスノキのひこばえで幼虫が見つかることがあります。とても速く飛びます。

きいろ



キタキチョウ 【シロチョウ科】
成:ほぼ一年中 冬:成虫
食草:ヤマハギなど
春先から全体が黄色の越冬したチョウが飛び出します。どんぐり山のヤマハギの葉に産卵します。

モンキチョウ(オス) 【シロチョウ科】
成:4~10月 冬:幼虫
食草:マメ科植物
オスはモンシロチョウを黄色くしたようなチョウです。くすのき広場の原っぱでよく見かけます。



アゲハ(ナミアゲハ) 【アゲハチョウ科】
成:4~10月 冬:蛹
食草:ミカン科の樹木
春型は黄色みがうすく、黒いすじが目立ちます。花壇のユズやカラスザンショウに産卵します。

キアゲハ 【アゲハチョウ科】
成:4~10月 冬:蛹
食草:セリ科植物
アゲハに似ていますが、前ばねの付け根に黒色の三角形があります。湿地のセリにやっけます。



キタテハ 【タテハチョウ科】
成:ほぼ一年中 冬:成虫
食草:クワ科やイラクサ科
冬でも暖かい日に飛んでいることがあります。枯れ葉のような裏ばねで、地面で上手に隠れます。

アカタテハ 【タテハチョウ科】
成:ほぼ一年中 冬:成虫
食草:イラクサ科植物
はねのオレンジ色と黒に白い紋のある模様が良く目立ちます。飛ぶスピードがとても速いです。

テングチョウ 【タテハチョウ科】
成:ほぼ一年中 冬:成虫
食草:エノキ
春先に地面で日向ぼっこをしている姿をよく見かけます。頭が天狗の鼻のようにとがっています。

オレンジ

みずいろ



ヤマトシジミ 【シジミチョウ科】
成:4~11月 冬:幼虫
食草:カタバミ
くすのき広場の地面近くをよく飛んでいます。メスは青みが少なく黒ずんだ色をしています。

ルリシジミ 【シジミチョウ科】
成:3~10月 冬:幼虫
食草:マメ科やタデ科など
幼虫の育つ植物の種類が多いので、広場ではよくみられるチョウです。花やつぼみに産卵します。

ツバメシジミ 【シジミチョウ科】
成:4~10月 冬:幼虫
食草:マメ科植物
くすのき広場のシロツメクサに飛来します。後ろばねの下のオレンジの紋と小さな突起が特徴です。

ムラサキシジミ 【シジミチョウ科】
成:ほぼ一年中 冬:成虫
食草:ブナ科の樹木
林の縁で葉に止まる姿がよく見られます。飛ぶと青紫の光る羽がキラリと見えてきれいです。

ベニシジミ 【シジミチョウ科】
成:3~11月 冬:幼虫
食草:タデ科植物
くすのき広場の地面近くをよく飛んでいます。スイバの葉を探すと、緑色の幼虫がついています。

写真の左側が表ばね、右側が裏ばねです。
右下の数字は標本のはねを広げた長さです。
略語の見方
成：成虫（チョウ）が見られる時期
冬：冬越しするときの様子
食草：幼虫が食べて育つ植物
参考文献：「日本のチョウ」誠文堂新光社